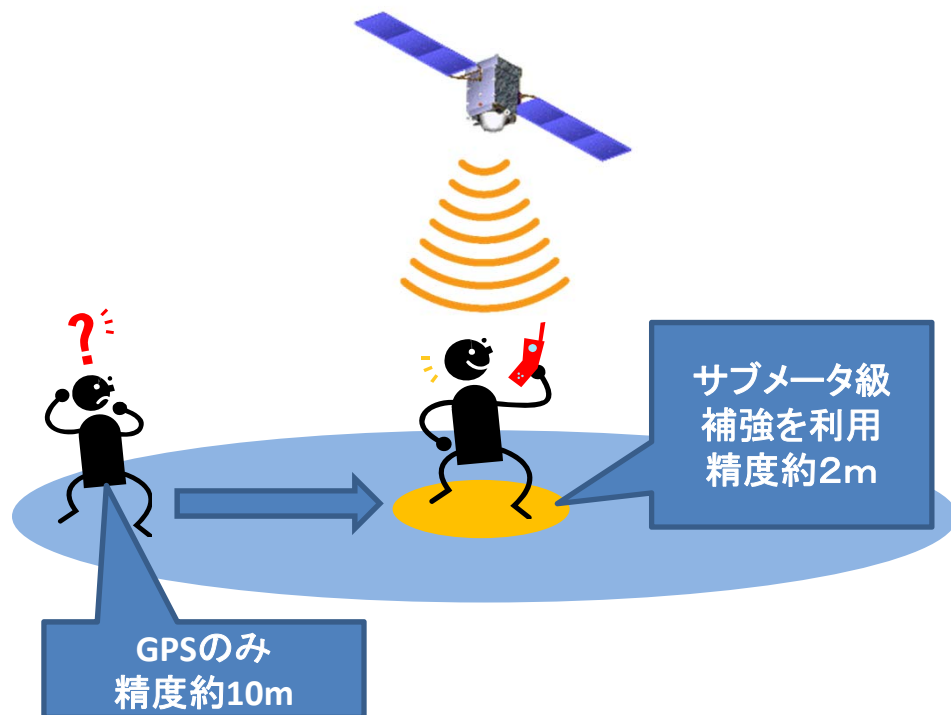


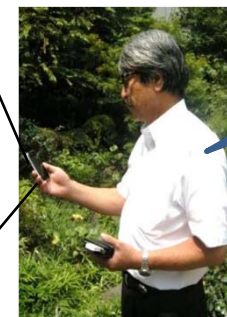
6. 準天頂衛星システムの利用拡大 (3)サブメータ級補強の利用

パーソナルナビゲーションでの準天頂衛星システムの利用

- ① 観光案内では、観光客の嗜好に合わせたピンポイントでの周辺情報の提供が可能。詳細な地図情報をベースに行動分析を行う必要があることから、高精度測位(補強)、ビル間での測位(補完)が不可欠。
- ② 地図情報やアルゴリズムの整備・開発、標準化等を通じて日本発の同サービスの海外展開も視野に入れる。



AR(拡張現実)
での利用
(例:セカイカメラ)

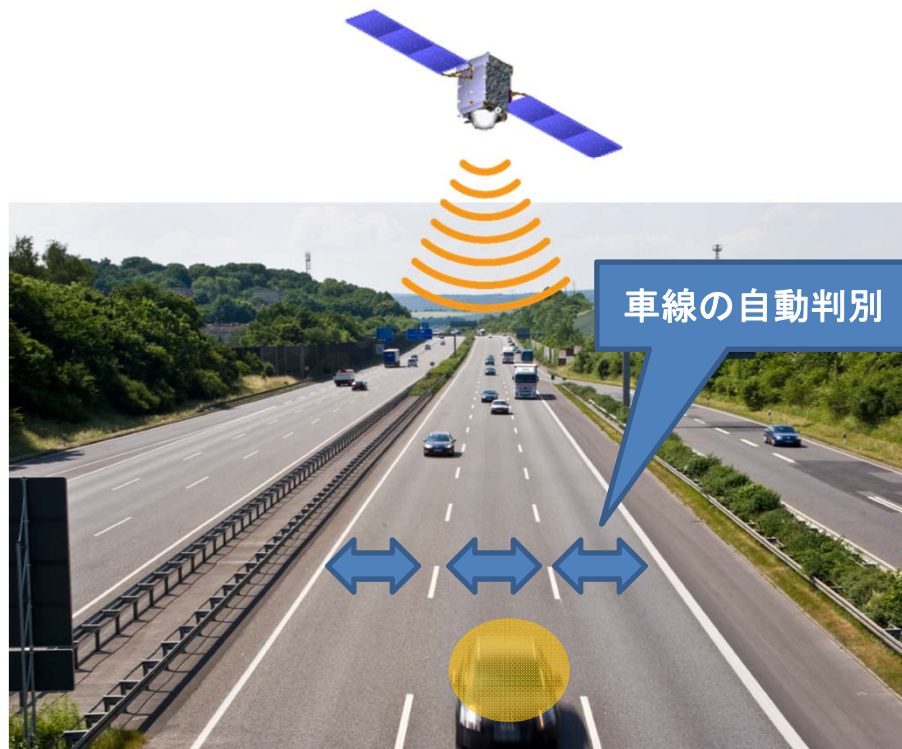


観光案内
での利用

6. 準天頂衛星システムの利用拡大 (3)サブメータ級補強の利用

カーナビゲーションでの準天頂衛星システムの利用

- ① カーナビの案内精度向上(補強)・受信範囲拡大(補完)
- ② 警報(車線のはみ出し警報、カーブ・下り坂手前の減速警報)
- ③ 道路状況に応じた運転支援、高速道路の上か沿道かの判別、逆走防止等
- ④ 運転支援(自動運転、適応型クルーズコントロール、道路・車線からのはみ出し防止、衝突回避、上り坂手前の加速によるエコドライブ)



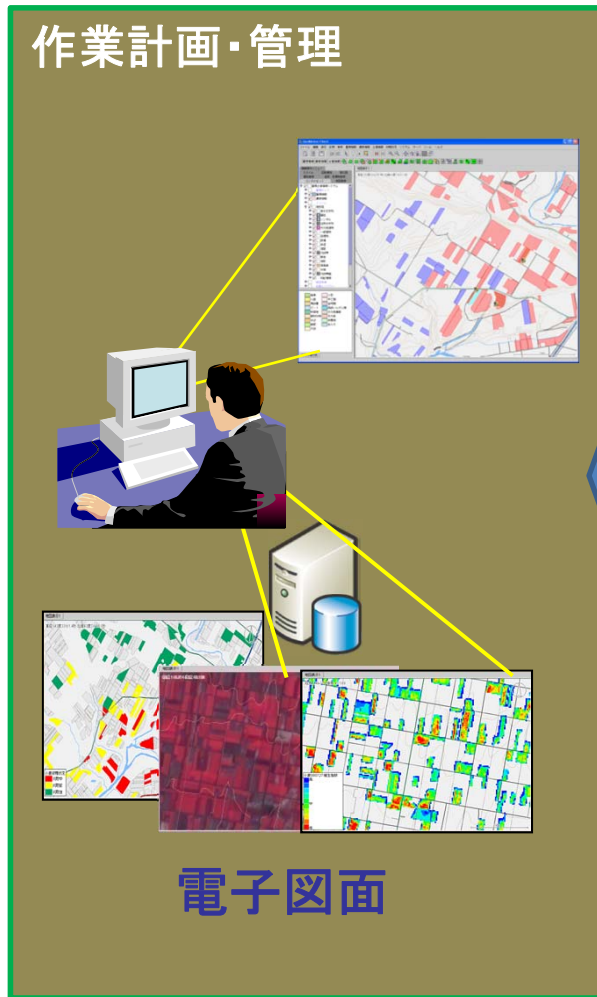
交通分野等の人命に関わる利用では、精度だけではなく、精度の信頼性が必要であり、補強機能があって初めて衛星測位が利用可能となる。

6. 準天頂衛星システムの利用拡大

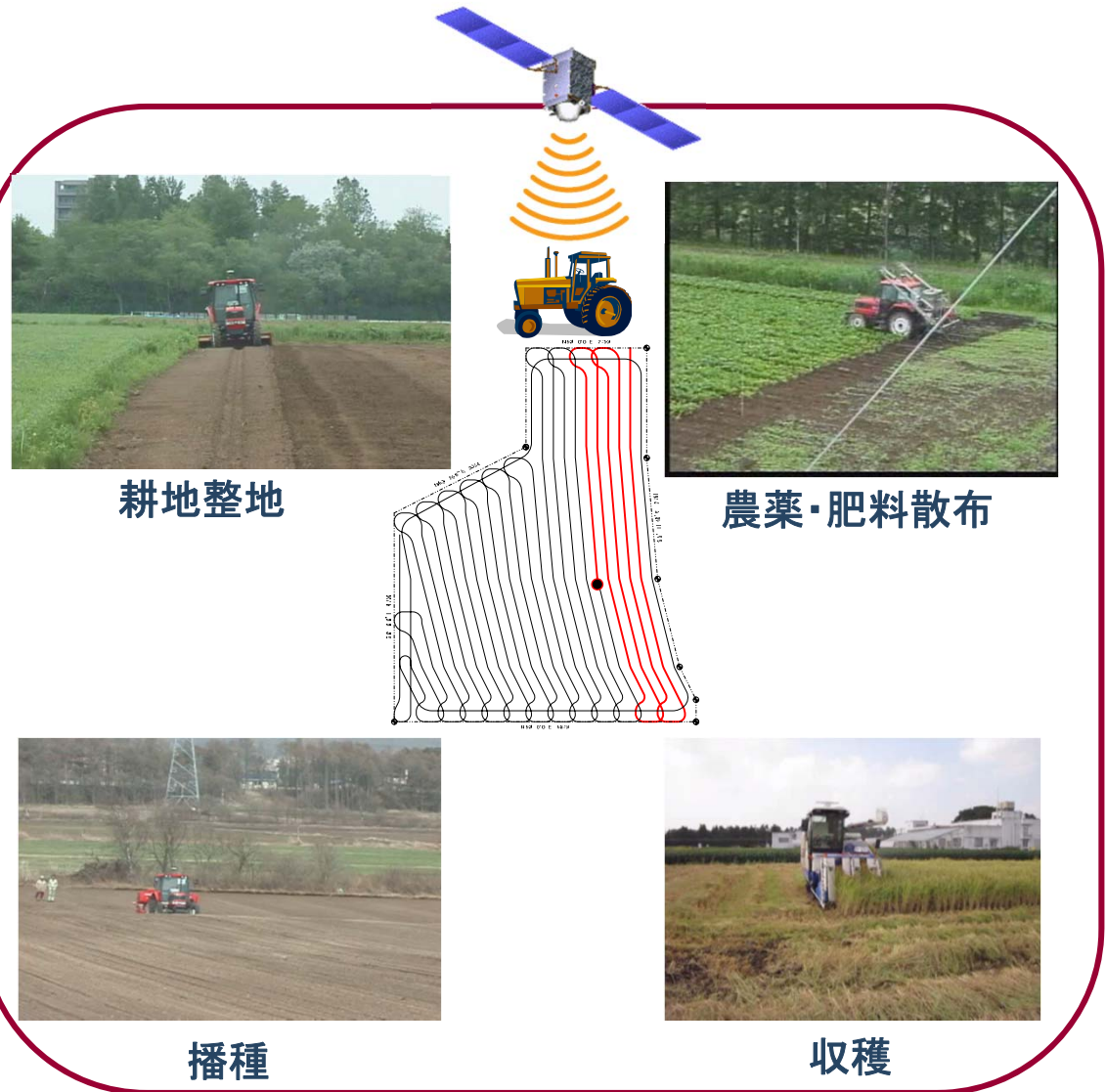
(4) センチメートル級補強の利用: IT農業

IT農機制御システム

作業計画・管理



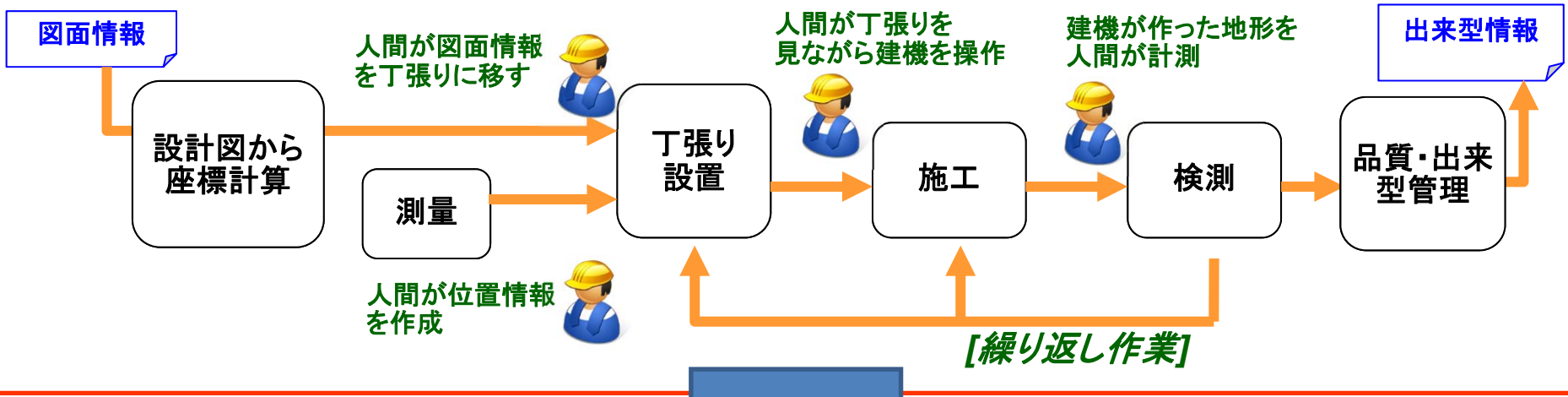
電子図面



IT農業では単なる農機の自動運行による省力化のみならず、場所ごとに異なる土壌に合わせた農薬・肥料散布等により生産量向上も図る。

6. 準天頂衛星システムの利用拡大 (5)センチメートル級補強の利用:情報化施工

従来法



情報化施工

3D-CAD 情報

設計図から座標計算

設計情報とセンチメートル級補強を使って建機を制御

施工

建機の刃先軌跡をセンチメートル級補強で取得

品質・出来型管理

出来型情報

6. 準天頂衛星システムの利用拡大

(6) アジア太平洋地域での展開

○ 準天頂衛星システムはアジア太平洋地域をカバー

→ 潜在的な利用者となるアジア太平洋地域の政府関係者等との関係強化

① 補完・補強サービスによる高精度測位サービスの提供

② 防災関連サービスの提供

6. 準天頂衛星システムの利用拡大

(7)「みちびき」対応受信機例

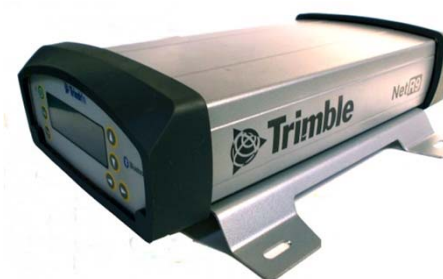
- ・準天頂衛星初号機「みちびき」のGPS補完信号に対応した受信機が普及してきている



パーソナルナビゲーション(カーナビ等向)



ハンディナビゲーション(登山者等向)



高精度測位機器(測量等向)